

[HOME](#) > ふれあいコラム > もう一つのプロジェクト代表 市川 真也さん

♪ふれあいコラム・・・・・

[バックナンバー](#)

今、話題の人物をクローズアップ！

2013年7月号 新しいスポーツカルチャーで、心も体も町もキレイに

NPO法人 もう一つのプロジェクト代表 **市川 真也さん**

駅伝形式で走りながらゴミを拾って順位を競う「ゴミ拾い駅伝」。楽しみながら社会貢献できる新しいスポーツカルチャーです。

昨年の港区芝公園周辺に続いて、今年8月「Kissポートゴミ拾い駅伝in新橋」が開催予定。いったいどういったものなのか、運営するNPO法人代表の市川真也さんに伺いました。

——どんなきっかけで始めたのですか。

大学時代、アドベンチャーカラーブに在籍しており、かつて箱根駅伝のコースを歩いた先輩たちがいたという話を聞き、自分たちも「もう一つの箱根駅伝」をやりたいと思ったのがきっかけです。でも、ただ歩くだけでは芸がない。竹馬やほふく前進で歩くなどいろいろな案が出ましたが、海岸清掃の体験からゴミ拾いを提案。2006年に5大学で対抗戦をやったのが最初です。卒業後は後輩が引き継ぎましたが、社会人になって参加できないのがもどかしくて。相談役に返り咲き、2011年にNPO法人にしました。

——ルールも面白いですね。拾ったゴミの重量と、設定された目標時間との差で、順位を競う方式ですね。

最初はタイムだけで、ゴミは加算しませんでしたが、ゴミを拾わず走るチームがでてきて。45ℓ袋の数を点数に加算することにしました。すると今度は、軽くてかさばるゴミで袋の数を増やす知恵が働いて（笑）。そこで、ゴミの重量とタイムポイントを合算する統一ルールにしました。

——箱根駅伝だけでなく、いろいろなゴミ拾い駅伝を企画していますね。

昨年はロンドンにも行きましたし、富士山に登頂する「3776駅伝」、4年間かけて江戸時代の五街道を制覇する「五街道ゴミ拾い駅伝」など、さまざまなプロジェクトがあります。港区の駅伝は、いろいろな団体とコラボする「みんなのゴミ拾い駅伝」プロジェクトの実現第一号です。コンパクトなコースなので、老若男女だれでも気軽に参加してもらえます。

——どんなチームが参加していますか。

学生時代の元選手が社会人になって同僚を誘ったり、合コンや同窓会を兼ねて参加したり。お店や会社の宣伝にもなりますし、家族で夏休みの自由研究にするのも良いですね。

女性と子供にはアドバントージがつきますし、ゴミが少ない区間は早い人が走るなど、コースや戦略を考えてチームを組んでみてください。

——ゴミに対する意識も変わりますね。

参加すると、普段歩いているだけでは絶対見つけないようなゴミにも目がいくんです。翌日も落ちているゴミを拾いそうになったり…。今年2月に千葉でやった時には、タヌキの死骸を拾ってきた方もいました。地域によってゴミも違います。新橋はどんなゴミが集まるでしょうか。

ゴミ拾い駅伝は、心も体も町もキレイになります。タスキを繋いで走る駅伝ならではの盛り上がりもあり、ほかではできない体験ができると思います。ぜひ、参加してください。

『Kissポートゴミ拾い駅伝in新橋』の参加者を募集しています。
詳しくは「[イベント・チケット情報](#)」のページをご覧ください。

「もう一つの箱根駅伝」は、現在は行われておらず、「東海道ゴミ拾い駅伝」に引き継がれています。



■プロフィール

1985年静岡県生まれ。2008年、神奈川大学卒業後、広告代理店に勤務。学生時代に企画したゴミ拾い駅伝への情熱が冷めないと気づき、2011年、同企画を運営するNPO法人「もう一つのプロジェクト」を設立する。国内外に向けてこの新しいスポーツカルチャーを発信中。

<http://another-project.com/>

▲このページのトップへ

| サイトマップ | みんなの声 | Kissポート財団について | 情報誌「Kissポート」について | 品質・環境への取り組み | 個人情報保護について[PDF] |

Kissポート財団 

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コムニティーブラザ

電話 : 03-5770-6837/Fax : 03-5770-6884 お問い合わせ : fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。